

—ペットとの向き合い方・共生に関する意識調査を実施—

約9割のペットオーナーが「今よりもペットの気持ちや想いを知りたい」と考える一方で、
4割以上が「ペットの行動の意味や習性を理解できていると言えない」結果に

これからは、「飼育」から「傾聴飼育」※1の時代へ

衛生用紙製品No.1ブランド※2の「エリエール」を展開する大王製紙株式会社（本社：東京都千代田区）は、昨年9月にペット用品ブランド「エリエールPet キミおmoi」を新たに立ち上げました。このたび、「キミおmoi®」が全国のワンちゃん・ネコちゃんのオーナー600名を対象に、「ペットとの向き合い方・共生に関する意識調査」を実施。調査結果を踏まえ、“ペットの行動について知識を深め、ペットの発信するサインや行動をしっかりと読み取ってあげること”がペットとオーナーさんの共生社会の充実につながると思う「キミおmoi」では、この考え方を「傾聴飼育」※1と名付けました。「傾聴飼育」の考え方と実践方法を社会に広める活動を行うことで、ペットとオーナーさんの“より幸せな暮らし”の実現を目指してまいります。



■「ペットとの向き合い方・共生に関する意識調査」調査背景

ペットとの共生社会において、今やペットはただの“愛玩動物”ではなく、“家族の一員”として大切な存在となっています。さらに2024年6月には、改正動物愛護法の完全施行も控えており、ペットとの共生についてより一層考えていくべきタイミングになっています。こうした中で、ペットとオーナーさんの“より幸せな暮らし”を実現したいというおmoiを持って生まれた「エリエールPet キミおmoi」は、「ペットへのやさしさ」について北里大学と共同研究を行い、ペットがより自然な状態で健康・快適に暮らせるよう、ペット視点での商品開発を行っています。

「キミおmoi」は3月20日の「動物愛護デー」を迎えるにあたって、本ブランドが目指す“より幸せな暮らし”の実現に向けた実態把握のため、ペットオーナーに対して共生社会の現状やペットに対するおmoiについての調査を実施しました。

<調査トピックス>

- ①ペットとの共生社会における環境・制度の現状に対して、「進んでいるとは言えない」オーナーが約6割以上と判明
- ②ペットと暮らす際、事前に情報を調べ準備するものの、4人に1人が「ペットが生活に満足しているか不安」と回答
- ③約9割はペットの気持ちを「今より知りたい、分かってあげたい」と思っている一方で、ペットの気持ちや想いを知るために行動や習性などを「理解できているとは言えない」オーナーが4割以上という結果に

調査結果について、獣医動物行動学の専門家でもある獣医師の藤井仁美先生は、「飼い主がペットの気持ちや想いを理解するための第一歩は、ペットの行動について知識を深めること、そして日々の生活の中で、ペットの発信するサインや行動をしっかりと読み取ってあげることが大切です」とコメントされています。（詳細は p5 参照）

※1:動物の発するサインをよく観察し、その本当の意味を理解しながら飼育すること

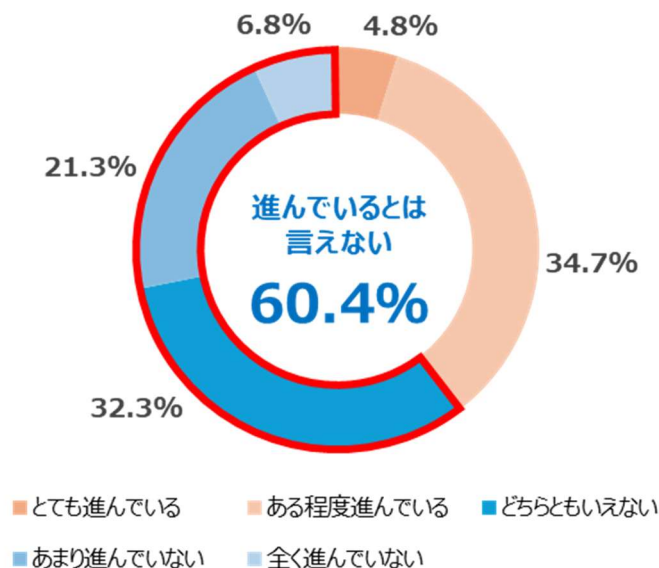
※2:インテージ SRI+ ティッシュ市場、トイレトペーパー市場、キッチンペーパー市場、ペーパータオル市場の合算（2022年度メーカー別売上金額）

「ペットとの向き合い方・共生に関する意識調査」アンケート調査結果

①日本でのペットとの共生社会における環境・制度に対して、「進んでいるとは言えない」オーナーは6割以上。 法律や公的なインフラの整備の問題だけでなく、ペットに対する社会的な理解も課題であることが明らかに。

ペットとの共生において日本は環境的・制度的に進んでいるか尋ねたところ、32.3%が「どちらともいえない」、21.3%が「あまり進んでいない」、6.8%が「全く進んでいない」と回答し、6割以上のオーナーが「ペットとの共生社会が環境・制度面で進んでいるとは言えない」と感じていることが判明しました。

ペットとの共生において日本は環境的や制度的に進んでいると思いますか？（n=600）



また、ペットとの共生において足りていない項目としては、「ペットに関する法律の整備・強化」（52.3%）、「ペットに対応した施設や交通インフラの整備」（48.2%）などの法律や公的なインフラの整備といった内容に加え、「ペットオーナー全体のマナー」（51.2%）、「ペットと一緒に暮らすことへの社会的な理解」（50.4%）、「社会全体のペットの生態や習性への理解・関心」（40.8%）など、オーナーや社会全体の意識に関する項目が挙がりました。日本はペット共生社会における環境や理解の問題が多岐にわたっている現実が浮き彫りになっています。

ペットとの共生においてどのようなことが足りていないと思いますか？

（前問で「どちらともいえない～全く進んでいない」回答者 n=363
／複数回答、全9項目のうち上位6項目を抜粋）

1位	ペットに関する法律の整備・強化	52.3%
2位	ペットオーナー全体のマナー	51.2%
3位	ペットと一緒に暮らすことへの社会的な理解	50.4%
4位	ペットに対応した施設や交通インフラの整備	48.2%
5位	ペットへの医療制度	45.5%
6位	社会全体のペットの生態や習性への理解・関心	40.8%

②ペットと暮らし始めるにあたり、約半数が事前にさまざまな情報を調べていると回答。一方、事前に準備を行い、環境は整えるものの、4人に1人が「ペットが生活に満足できているか不安」と感じていることが判明。

ペットとの暮らしを決めたときに行うことの上位3項目は、「ペットフードの情報を調べた」（55.0%）、「ペット用品の情報を調べた」（52.5%）、「犬や猫の生態を調べた（排泄、しつけ、行動など）」（52.2%）という結果に。約半数が、ペットと暮らし始めるにあたり、生態や病気、ペット用品やペットフードなど事前にさまざまな情報を調べていることが分かりました。

あなたがペットと暮らし始めると決めたときに、どのようなことを行いましたか？

(n=600/複数回答、全11項目のうち上位5項目を抜粋)

1位	ペットフードの情報を調べた	55.0%
2位	ペット用品の情報を調べた	52.5%
3位	犬や猫の生態を調べた（排泄、しつけ、行動など）	52.2%
4位	犬や猫に関する病気を調べた	46.0%
5位	病院や散歩ルートなど自宅周辺のペットに関する環境について調べた	30.2%

ペットと暮らしていて困ったり悩んだりすることとしては、お出かけや留守番に関する物理的な制約をあげるオーナーが多い一方で、4人に1人の割合で「ペットが生活に満足できているか不安」という声も挙がりました。ペットと暮らすにあたり、事前に調査や準備を行い、環境は整えるものの、実際に暮らし始めるとペットの気持ちへの理解に不安を感じていることが分かりました。

ペットと暮らしていて、困ったり悩んだりしたことについて教えてください。

(n=600/複数回答、全9項目のうち上位5項目を抜粋)

1位	遠出・旅行での移動が制限される、一緒に移動ができない	46.3%
2位	家を空けなければいけないときに、相談したり、代わりに見てくれる人がいない	34.7%
3位	一緒に行ける場所が少ない	28.2%
4位	ペットが生活に満足できているか不安	26.3%
5位	ペットの行動の意味や考えていることがわからない	20.5%

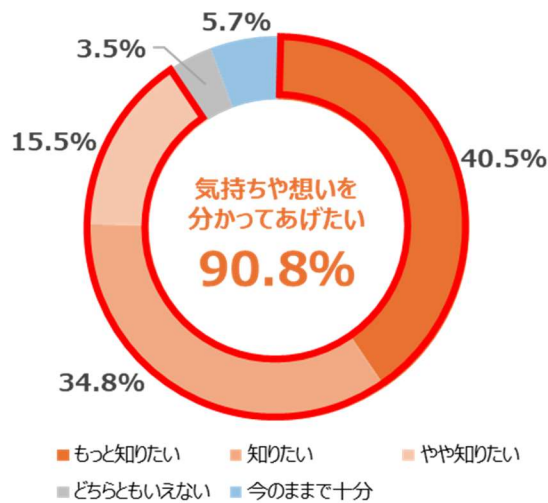
4人に1人!

③約 9 割はペットの気持ちを「今よりも知りたい、分かってあげたい」としており、そのためには半数以上が「ペットの行動や習性を理解すること」の必要性を実感。

一方、必要だと思う行動に対して 4 割以上のオーナーが現状「できているとは言い切れない」結果に。

ペットの気持ちや想いについて、全体の約 9 割は「今よりも気持ちや想いを知りたい、分かってあげたい」と思っていることが明らかになりました。その中でも、ペットの気持ちや想いを知るために行ったほうが良いと思う項目は、「表情や行動（鳴き声・ボディランゲージなど）をよく観察し、メッセージを読み取る」（63.2%）、「動物の行動や習性が示す意味を理解する」（60.0%）が続きました。多くのオーナーが動物行動学に基づいたペットの理解が必要だと感じている様子が見えられます。

今よりもよりペットの気持ちや想いを知りたい、分かってあげたいと感じていますか？ (n=600)

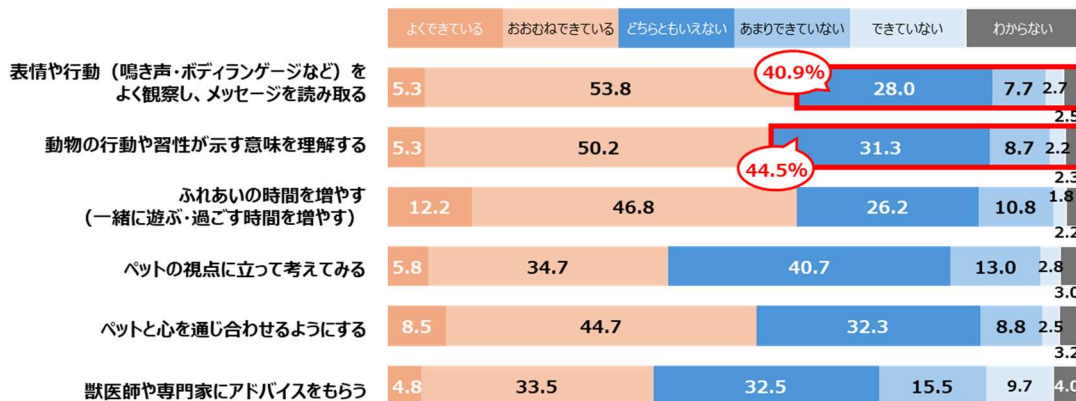


ペットの気持ちや想いを知るために、飼い主が行った方が良いと思うことを教えてください。(n=600/複数回答)

1位	表情や行動(鳴き声・ボディランゲージなど)をよく観察し、メッセージを読み取る	63.2%
2位	動物の行動や習性が示す意味を理解する	60.0%
3位	ふれあいの時間を増やす(一緒に遊ぶ・過ごす時間を増やす)	59.3%
4位	ペットの視点に立って考えてみる	38.0%
5位	ペットと心を通じ合わせるようにする	33.2%
6位	獣医師や専門家にアドバイスをもらう	25.2%
7位	わからない/あてはまるものはない	8.2%

その一方で、ペットの気持ちや想いを知るために行ったほうが良いと思うことを、オーナー自身がどの程度実践できているか尋ねたところ、「表情や行動（鳴き声・ボディランゲージなど）をよく観察し、メッセージを読み取る」、「動物の行動や習性が示す意味を理解する」については、4 割以上のオーナーが「実践できているとは言い切れない」と回答。ペットの想いを知るために重要な「傾聴飼育」の実践が不足していると考えるオーナーが多いことが明らかになりました。

ペットの気持ちや想いを知るために、ご自身はどの程度実践できていますか？ (n=600)



<「ペットとの向き合い方・共生に関する意識調査」概要>

【調査対象】 20 代～70 代の全国のペット（犬・猫）オーナー600 名

【調査期間】 2024 年 2 月 16 日（金）～2 月 18 日（日）

【調査方法】 インターネット調査

【調査実施者】 大王製紙株式会社

■ 獣医動物行動学の専門家からのコメント

調査結果より、普段の生活の中で悩んでいる面としては、一緒のお出かけが制限されることなどがあるようです。これについては動物アレルギーの人への配慮など検討すべき点が多々ありますが、ペットが社会に迷惑をかけずマナーを守れるようにすることや、お出かけ先でのペットのストレスを減らすことなども、ペットと人の共生社会のためには大切な要素です。

問題行動はペットのストレスやしつけの不行き届きなどが原因となることが多いため、ストレス軽減の工夫や正しいしつけをすることで問題行動を減らせば、外出先でもみんなが楽しく心地よく過ごせるはずです。もちろんお家の中でも、ペットと家族が楽しくストレスなく生活できることは大切です。

飼い主がペットの気持ちや想いを理解するための第一歩は、動物種別の習性、持ち合わせた能力、学習の影響など、ペットの行動について知識を深めることです。そして実際のペットの気持ちやストレスをわかってあげるためには、日々の生活の中でペットの発信するサインや行動をしっかりと読み取ってあげることが大切です。

ペットは人の言葉を話しません。代わりにボディランゲージや表情、そして行動などを通じて気持ちを相手に伝えていきます。それらをしっかりと観察し読み取り、何を意味しているのかを考えながら接すると良いでしょう。

もちろんペットの気持ちに振り回されたり、言いなりになれば良いというわけではありません。相手の意思を尊重したうえで、ペットが理解できる形でこちらの気持ちや想いもきちんと伝えることも必要です。そうやってお互いの立場を思いやりながら質のよいコミュニケーションができるようになれば、真の信頼関係を築いていくことができます。

ペットが飼い主のことを深く信頼できるようになれば、正しいマナーを教えるためのしつけもしやすくなります。そうすればお家の中でも外出先でも理想的なペットとの共生社会が築けるようになると思っています。

【コメント執筆者】

藤井 仁美先生（獣医師・獣医行動診療科認定医・伴侶動物行動カウンセラー）

東京の動物病院で小動物診療に携わったのち、シンガポール、次いでイギリスに渡航。在英中にロンドンの動物病院や動物保護施設などで働きながら、動物行動学を専攻し資格を取得。日本に帰国後、獣医行動診療科認定医の資格を取得。現在は Ve.C.ベックジャパン動物病院グループにて、犬と猫の行動診療やストレスケア、子犬・子猫の飼い主指導などに携わり、動物の心身両方の健康や幸福の推進、および飼い主の幸福増進を目指している。また日本獣医動物行動研究会副会長として、獣医動物行動学の教育・啓発・普及などにも力を入れている。



■ 調査総括：「キミおもい」が考える傾聴飼育

調査結果を受けて、多くのペットオーナーが「今よりももっとペットの気持ちや想いを知りたい」と感じている様子が見られました。その一方で、オーナー自身も重要だと考えている「ペットの表情や行動（鳴き声・ボディランゲージなど）をよく観察し、メッセージを読み取ることや、動物の行動や習性を理解すること」を実践できていないと考える方が多い実態も明らかになりました。

動物行動学の専門家でもある獣医師の藤井仁美先生のコメントでも述べられているように、飼い主がペットの気持ちや想いを理解するための第一歩は、ペットの行動について知識を深めることであり、ペットに視線を合わせるように、行動や習性を学び、理解をすることが重要であることが分かります。

この考えに強く共鳴した「エリエールPet キミおもい」は、“動物の発するサインをよく観察し、その本当の意味を理解しながら飼育する”という考え方を「傾聴飼育」と名付けました。「傾聴飼育」実践のポイントは、①ペットの生態や行動について学ぶこと ②ペットからのサインをしっかりと観察すること ③そのサインの意味を考えて接すること です。「傾聴飼育」によってブランドのテーマでもある「キミにやさしい、一緒にうれしい。」を実現することで、ペットとオーナーの共生社会の充実につなげることを目指し、今後、「傾聴飼育」の考え方と実践方法を広く伝えるための活動を行ってまいります。

“キミとずっと幸せに”キャンペーン 絢香の新曲で CM デビュー！

2023年9月7日（木）～10月31日（火）に『100文字の「キミおmoi」を届けよう！絢香とつくる「キミおmoi」SONG』として、全国のワンちゃん・ネコちゃんのオーナーさんがペットに伝えたい“キミおmoi”メッセージを SNS で募集したところ、約 4,000 件のメッセージが届きました。これらのメッセージを受け、ブランドアンバサダーのシンガーソングライター・絢香さんが「キミおmoi[®]」公式ソングを制作中です。

完成した楽曲を使用した「みんなの“キミおmoi[®]”」の CM 制作にあたり、全国のワンちゃん・ネコちゃんのオーナーさんから、「あなたとワンちゃん・ネコちゃんの幸せなシーン」を撮影した動画を SNS で募集するキャンペーンを 2024 年 4 月 7 日（日）まで実施しています。採用されると、あなたのワンちゃん・ネコちゃんが「みんなの“キミおmoi[®]”」CM でデビュー！

【特設サイト】 <https://www.elleair.jp/kimiomoi/campaign/movie/>



■キャンペーン概要

【名 称】 “キミとずっと幸せに”キャンペーン 絢香の新曲で CM デビュー！

【期 間】 2024 年 3 月 8 日（金）～4 月 7 日（日）

【応募方法】 「エリエール Pet キミおmoi」の公式 Instagram またはエリエール公式 X (@elleairofficial) をフォローし、公式アカウントのメンションと指定ハッシュタグをつけて、「あなたとワンちゃん・ネコちゃんの幸せなシーン」の動画を投稿してください。

「エリエール Pet キミおmoi」公式 Instagram: https://www.instagram.com/elleairpet_kimiomoi_official/

※いずれも以下の指定ハッシュタグ 2 つをつけて投稿ください。

指定ハッシュタグ

<ワンちゃん応募の方>

「#みんなのワンちゃんムービー」

「#キミおmoi」

<ネコちゃん応募の方>

「#みんなのネコちゃんムービー」

「#キミおmoi」

【CM 公開】 5 月下旬以降を予定 ※公開時期は、前後する場合がございます。

【お問い合わせ】 「エリエール Pet キミおmoi」キャンペーン事務局

電話でのお問い合わせ TEL：03-6878-6151（受付時間 10:00～17:00／土日祝日を除く）

メールでのお問い合わせ メールアドレス：kimiomoi-cp@customer-info.com

※事務局受付期間：2024 年 3 月 8 日(金)～5 月 31 日(金)

【参考】

「エリエールPet キミおmoi」商品概要

「エリエールPet キミおmoi」は、ペットとオーナーさんの“より幸せな暮らし”をカタチにするため、“ペットへのやさしさ”と“多様化するペットオーナーのニーズ”を重視した 5 カテゴリー（システムトイレ用猫砂・シート、ノーマルトイレ用猫砂、おむつ、ペットシート、ウエットシート）の商品を展開。

「ペットへのやさしさ」については、北里大学獣医学部と共同研究を行い、ペットがより自然な状態で健康・快適に暮らせるよう、ペット視点での商品開発を行っています。



【商品内容】全 5 カテゴリー（猫用 14 商品、犬用 17 商品）

【公式 HP】 <https://www.elleair.jp/kimiomoi/about/>

【公式 Instagram】 https://www.instagram.com/elleairpet_kimiomoi_official/

【商品ラインナップ】

	ネコちゃん商品ラインナップ	ワンちゃん商品ラインナップ
システムトイレ用 猫砂/シート	<p>パワフル消臭・抗菌 システムトイレ用 ネコ砂</p> <p>紙タイプ 大粒 / 紙タイプ 小粒</p> <p>パワフル消臭・抗菌 システムトイレ用 シート</p> <p>3~4日交換 / 1週間交換 / 複数ネコ用 1週間交換</p>	<p>のびのび動ける アクティブウェア</p> <p>おむつ</p> <p>おうちくつろぎ リラックスウェア</p>
ノーマルトイレ用 猫砂	<p>カチッと固まる ネコ砂 / おしっこチェックできる 固まる 紙のネコ砂</p> <p>紙タイプ</p>	<p>たっぷり吸収 パワフル消臭シート</p> <p>レギュラーサイズ / ワイドサイズ / スーパーワイドサイズ</p>
ウエットシート	<p>徹底キレイ おそうじシート</p> <p>大判厚手タイプ / 大容量ボトルタイプ</p>	<p>肌にやさしい ウエットティッシュ / 全身すっきりシート</p> <p>純水99% / ノンアルコール除菌</p> <p>小型犬用 / 中型犬用</p>